

新しい教学体制の構築にむけて



新しい年度では、新しい教育体制の下で、本学の建学の精神を生かした教育がなされなければならない。今日では「質の保証」に向けて新しい教育体制を組むことが喫緊の課題と

なっている。

その有効な手法の一つに「アクティブラーニング」がある。聞きなれない言葉であるが、「課題解決型の能動的な学習」という意味で、学生の思考や表現を引き出し、その知性を鍛える双方向の授業を中心とした教育に転換していこうというものである。これについて立教大学の先進的な取り組みがしばしば取り上げられている。そこでは「権限がなくとも、ビジョンを示して周囲を巻き込むリーダーシップの養成」という明確なビジョンを掲げ、5学期(2年半)にわたる経営学部必修科目として行われている。プロジェクト実行(春学期)とスキル強化(秋学期)に関する科目が交互に実施されており、「プロジェクト実行(春学期)では課題解決型の授業を、スキル強化(秋学期)ではディベートやグループワークなどの実践を交えて理論を学ぶ。」というものである。

この背景には、企業から大学へ強い期待が寄せられていることがある。企業は大学に次のことを期待している。①専門分野の知識をしっかりと身につけさせる、②チームで特定の課題に取り組む経験をさせる、③専門に関連する他領域の基礎知識も身につけさせる、④理論に加えて、実社会とのつながりを意識した教育を行う、というものである。そこには大

学本来の使命である教育を十分に施すと同時に、卒業後を見据えた教育であることが期待されている。社会が変わりゆく中で、大学も社会の期待に応えていかなければ、大学そのものの存在価値を失うことを意味している。

おかげさまで、本学でも昨年末の文部科学省の支援により、現在アクティブラーニングを行う部屋の整備を進めている。新年度は、アクティブラーニング室をフルに活用し、課題解決型の能動的学習を積極的に進めていきたい。

また、大学の質の保証に向けた教学体制構築のための取り組みの一つとして「ナンバリング」がある。これは授業科目に適切な番号を付して分類することで、学修の段階や教育課程の体系を明示する仕組みである。本学でも学生の履修に配慮して、必修、選択必修、その他、自由選択科目として個々人の自由裁量を認めてきたが、個々人の意思を尊重する上ではすばらしいものであるものの、大学がどのような人材を育成するかという視点からは十分なものではなく、大学の「責任」である質の保証及び確保の観点からは不十分である。今や結果を志向した新しいガイドラインが求められている。これも喫緊の課題であろう。しかも、学生の成績評価についてGPA制度の導入が求められている。この制度は世界標準であり、日本の大学においても過半数(453校)がこの制度を採用しており、その数はさらに増えるものと推測される。

昨年に引き続き、質の保証および新しい大学「基準」に向けて早急な改革を進めなければならぬまい。環境が人を作るだけに、新しい教育環境づくりを通して、全学をあげた積極的な取り組みを期待してやまない。

CONTENTS

<商大トピック>

- 岡山市とESDに関する協定書調印
- 真庭郡新庄村と包括協定締結

<情報アラカルト>

- 2013年度クラブ活動の主な戦績
- 私立大学等改革総合支援事業、3タイプに選定
- 2014年度前期 夕学講座

商大トピック

Topic 1

前期学位記授与式

2013.9.13

平成25年9月13日(金)、前期学位記授与式が本館大会議室で挙行されました。学部では法学部法学科3名、経済学部経済学科2名、経営学部経営学科3名、同商学科4名、商学部商学科1名、大学院では商学研究科5名、法学研究科2名に、井尻学長から学位記が授与されました。皆様の今後のご活躍を心からお祈りいたします。(総務企画課)



Topic 2

保護者懇談会

2013.9.14

平成25年9月14日(土)に恒例の保護者懇談会を本学で開催しました。個別面談を中心に、教育支援の現状についてお話をさせていただきました。岡山県中小企業団体中央会から本学OB('93年商卒)の岡崎建氏をお迎えして、中小企業の魅力について講演をいただきました。また、中四国8会場でも懇談会を開催し、遠方の方々と有意義な時間を過ごすことができました。ご参加いただいた皆様には、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。(総務企画課)



Topic 3

岡山市とESDに関する包括協定書調印

2013.9.18

平成25年9月18日に、岡山市との間に、「持続可能な開発のための教育(ESD)」の環境、経済、社会及び教育に関する事項の推進等における協力を行うための協定を結びました。



協定書では事業内容として、岡山ESDプロジェクトの実施に関する事業、持続可能な社会づくりに向けて、地域の社会・経済システムの継続・発展に繋がる人材の育成を図る事業、岡山市で開催される広域的なESD関連会議・イベントの運営支援に関する事業、岡山市のESD推進に関する学生・教員参加型社会・教育事業を行うことなどを定めました。同日、第1回となる「岡山商科大学と岡山市とのESD連携協定に基づく定例会議」を開催し、本学からは、大崎副学長を中心に関係する教員が出席し、ESDの分野で本学と岡山市が協力していける分野や、ESD活動が盛んな地域、これから注力していくべき地域などについて意見交換を行いました。

平成26年1月25日・26日、岡山市立京山公民館で開催された「第9回岡山市北区京山地区ESDフェスティバル」にボランティア学生と教職員が参加しました。中国からの留学生は「ワールドカフェ〜世界の昼ご飯ってなあに?!〜」の中で、中国の食文化についてクイズ形式などを通じて発表し、参加者の関心を集めました。

(産官学連携センター)

Topic 4

真庭郡新庄村と包括協定を締結

2013.11.22

平成25年11月22日、岡山商科大学が新庄村との間で包括協定を締結しました。

岡山商科大学では、実践教育を重視しており、地域での活動を通じ、座学では得られない教育を行うためフィールドスタディを積極的に実施しています。

そうした取り組みの中で、岡山県真庭郡新庄村とは、平成17年4月20日に岡山商科大学地域再生支援センターとの間で協定を結び、これまで「新庄村商大生フィールド調査」や「新庄村インターンシップ事業」など、多くの事業を実施してきました。

活動を進めていく中で、新庄村の地域特性プラットフォームの研究、新庄村の自然環境の保全活動など、地域再生支援センターの枠を超えた新たな活動が増えており、また年間を通じフィールドスタディを円滑に実施できる学内体制とするため、この度、新たに本学と新庄村との協定を締結することといたしました。

協定を機に、地域で活躍できる人材を育成するための取り組みをさらに進め、地域の皆様の期待に応えていきたいと考えています。

(産官学連携センター)



Topic 5

大韓民国忠清北道教育庁研修団受け入れ

2014.1.9~24

平成23年度から受け入れている大韓民国忠清北道教育庁からの依頼による同教育庁所属の中・高等学校日本語教諭6名を今年度は平成26年1月9日から1月24日までの期間、語学研修団として、受け入れました。

研修内容は通常講義を本学学生とともに受講

した他、課外授業として、備前焼や茶道・座禅などを体験していただきました。また、本年度はホームステイも体験いただきました。ホストファミリーは当初、初めての経験であり、不安を持っていたようですが、実際受け入れ、すぐ打ち解けることができ、一般レベルの国際交流ができたとお互いに喜ばれておりました。研修後半には道後温泉や岡山県内の観光地及びテレビ局・ビール工場、附属高校、旧閑谷学校の視察など実施いたしました。附属高校では同じ教育現場の教員同士、日本と韓国の教育現場の類似点や相違点など活発な意見交換が行われました。研修団は日本語能力の向上だけではなく、日本文化・風習といったものを体験したいと願われており、研修態度は非常に真剣でありました。

毎回感じるのですが、研修団の先生方は日本に対し好意的であり、今後とも友好的な交流が継続できることを願っております。

(総務企画課)



Topic 6

学会講演会「伝統産地生き残りの知恵」開催

2013.11.28

岡山商科大学学会学術講演会が平成25年11月28日(木)に開催され、「伝統産地生き残りの知恵〜陶磁器産地に学ぶ協働と人材育成の仕組み〜」というテーマで上智大学経済学部教授山田幸三氏からご講演をいただきました。

ご講演では、陶磁器産地で協力して活動する「協働」の仕組み、伝統工芸技術の継承とそのための人材の育成、窯元たちの企業家活動について述べられ、聴衆を魅了されました。

(岡山商科大学学会)



Topic 7

第2回新商品・新サービスを発想するワークショップ

2013.9.13

岡山商工会議所・岡山商科大学主催の「ワークショップ」が平成25年9月13日、岡山商工会議所で開催されました。参加者は

様々な業種の方たち14名でした。テーマは、事前に新規事業を考える参加者に社内で抱えている課題をあげてもらい、その中から2つのテーマを選びました。1つは人材活用サービスの開発、もう1つは健康志向にマッチした商品・サービスの開発です。参加者は2グループに分かれて発想・構造化し、最後にその成果をグループ代表者が発表しました。参加者の多様な知識・経験から創発された活発な議論によって面白い成果が生まれました。成果はフェイス



ブックにもアップされました。翌日の朝日新聞に、シャープが「テレビで高齢者見守りサービスを始め」との記事が掲載されていました。電源を入れると、今日の体調はいかがですか? という画面が出るそうです。さすがシャープは目の付け所が違います。ワークショップでは、それ以上の魅力的なアイデアが出ていただけに、残念でした!!
<https://www.facebook.com/leek.island.monkey?fref=ts>
<https://www.facebook.com/kinoe.mabuchi>
 (経営学部 特任教授・馬淵キノエ、教授・三好宏、講師・横澤幸宏)

Topic 8

商大講座「岡山方谷塾ビジネススクール」への講師派遣

社会総合研究所では、協同組合岡山県卸センター主催の「岡山方谷塾ビジネススクール」に協力し、本学教員による下記講座を実施しました。



「岡山方谷塾ビジネススクール」は、幕末期に財政破綻に陥った備前中山藩(現在の高梁市等)を立て直した山田方谷の理念と実践を学ぶことを目的として2013年2月に開設され、ビジネス一般セミナー・教養講座等を含め年間30のワンコイン(500円)セミナーを計画しています。

平成25年度下期 開催講座(商大講師実施分)

実施月日	時間	講師	講座名
10/17 (木)		岡山商科大学経営学部特任教授 長田 貴仁	松下幸之助と稲盛和夫の再来はあり得るか
11/7 (木)	18:30 ~ 20:00	岡山商科大学法学部講師 倉持 弘	消費生活と契約
12/19 (木)		岡山商科大学経営学部教授 三好 宏	マーケティング発想を学ぶ
2/22 (土)	13:00 ~ 14:30	岡山商科大学法学部教授 越智 悦子	夏目漱石「夢十夜」を読む
3/5 (水)	18:30 ~ 20:00	岡山商科大学経済学部講師 井田 大輔	私たちの暮らしと金融

(社会総合研究所)

Topic 9

津山商業高校との中国文化プログラム

2013.12.14

岡山商科大学の遠隔通信システムによる国際交流事業「岡山商科大学国際交流特別講義—中国文化プログラム—」を担当させていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。本講義は本学の中国人留学生5名の協力を得て、遠隔通信システムを通じて10回にわたって行われました。受講者は津山商業高等学校の生徒9名でしたが、毎回のテーマに関して、高校生から様々な質問が出され、それらの質問に対して一生懸命日本語で答えていた留学生の姿に感動させられました。この中国文化プログラムを通して、中国人留学生と日本人高校生はお互いのことをより一層理解できたのではないかと思います。このよ

うな若い世代間の交流こそ真の中日友好につながるものではないでしょうか。

(岡山商科大学経営学部 准教授 黎 曉妮)

遠隔通信システムを利用して、平成25年5月から開始した中国文化プログラムですが、11月に全10回のプログラムを終了しました。終わりが近づくと、参加した本学の留学生、津山商業高校の生徒それぞれから、直接お会いしたいとの声が自然と上がり、12月14日(土)に交流会を開催しました。

本学からマイクロバスで5名の留学生と3名の教職員が津山商業高校を訪ね、津山商業高校の7名の生徒と、吉田信校長等5名の先生から出迎えを受けました。

午前中は、留学生と生徒が協力して中国では春節などで食べられる水餃子づくりを行いました。慣れない手つきの生徒を留学生が手伝いながら、大小様々な水餃子ができあがり、全員揃ってお腹一杯いただきました。午後からは、生徒が司会進行をしながら交流会が行われ、だるま落としや福笑いなど日本の伝統的な遊びを楽しみました。留学生からは、中国の伝統的な遊びや笛の演奏、ダンスの紹介が行われました。締めくくりに、生徒による合唱の披露で、日本語と中国語の両方の歌詞で歌われました。

名残を惜しみつつ、またの再会を祈りながら交流会は盛会のうちに終了しました。

(産学官連携センター)

Topic 10

法学部フィールドスタディ 刑務所見学

2014.2.4

平成26年2月4日、法学部では、岡山市北区牟佐にある岡山刑務所において、法学部の3年生4名、4年生4名及び引率教員1名が参加し、刑務所見学を実施しました。

これは、刑務所内で行われる処遇・更正活動を肌で感じ、行刑についての意識を向上させるとともに、刑務官からのお話などを通じて、刑務所及び行刑に関する知識を習得することを目的としています。

(法学部)

参加した学生の感想

刑務所見学で印象に残ったのは、受刑者が想像していたよりも真面目に作業に取り組んでいたことでした。失礼かもしれませんが、私の抱いていた受刑者のイメージは、だらしない服装で、面倒くさそうに作業をしているというものでした。しかし実際には、誰も私語をせず、黙々と作業に取り組んでいました。また、岡山刑務所には、刑期が長い受刑者しかおらず、刑務作業で作成された備前焼の置物や皿、トートバックなどの品物はどれも高いクオリティでした。こういったことも、受刑者らが、長い時間をかけて日々まじめに取り組んでいるからこそだと思います。他方、刑務所内の食事も、受刑者が準備・片付けをしています。包丁などの凶器となりうるものを受刑者に持たせてよいのかと疑問に思いましたが、受刑者の中でも更生し、信頼のおける者がその役割を与えられているとのことでした。重大な犯罪を犯した人でも、まじめに作業に取り組み、更生して行くことが重要です。私は卒業後警察官になりますが、社会に出る上で、その真摯に取り組む姿勢を貫いて、仕事仲間からも県民からも信頼される人間として、職

務を遂行しなければならないと改めて考えさせられました。

(法学部法学科4年 田中新平)

Topic 11

『岡山まちの夢 学生冬フェス』に参加

2014.2.8

平成25年度、岡山県と岡山県中小企業団体中央会は地域活性化を目的とした事業として、「岡山まちの夢『学生発☆実現プロジェクト』、『学生アイデアコンテスト』を実施しました。



本学としては、平成26年2月8日(土)に学生が主体となった野外フェスティバル「つなおか2014」に学生3名と教職員2名でブースを出展しました。前日に、本学と包括協定を結んでいる真庭郡新庄村の名産餅米「ひめのもち」について丸め、割り箸に指したものを準備しました。そして、当日、焼いて砂糖醤油をからめて秋田名産「うちわ餅」として販売しました。また、ブースでは、経営学科と商学科のフィールドスタディに関するパネルを展示しました。

その日は、岡山市内で20年ぶりとなる積雪があり、午前中は人がまばらでした。しかし、正午過ぎから来場者が増え、午後2時頃には用意した餅が全て完売となりました。来場者には、展示したパネルを熱心に見ていく人もあり、フィールドスタディの活動に対する理解が少し進んだように思います。

今年度、「岡山まちの夢」事業の中で、「学生アイデアコンテスト」と「岡山ブランディングマークコンテスト」に複数の商大生が参加しました。残念ながら入賞には至りませんでしたが、参加学生にとっては地域の活性化を考えるきっかけになったと思います。

(産学官連携センター)

Topic 12

経営改善の課題に取り組んだフィールドスタディⅡ

2014.2.10~21

本年度に実施したフィールドスタディⅡで、受講生はハマトフルーツワールドの施設に宿泊しながら、園内で栽培しているバナナやマンゴーなどの果樹の手入れを行った。さらに、オーナーから与えられた農園の観光客の受け入れに関する経営改善の課題にも取り組んだ。



そして、最終日に開催した報告会で、受講生全員が資料を基に改善案を示した。具体的には園内を楽しく回るためのパンフレット作成、それに、道路の舗装や園内の景色を楽しむための散策路の設置などの提案を行い、園主から高い評価を受けた。

この様に、受講生はハマトフルーツワールドにおける観光客の受け入れ体制に対し、現実存在する現象や課題を学生自身の目で観察し、考えることができた。

(経営学部商学科 教授・岸田芳朗)

最終講義 (45年間を振り返って)

岡山商科大学大学院特任教授 堤 一浩

2014 (平成26) 年1月21日に、763番教室で川本経営学部長の司会の下で最終講義を行いました。

最終講義では、45年間で主として研究してきた「現代年金会計論」を中心に講義しました。主な出席者は、大学院の財務会計特論や財務諸表論などの会計関係科目の受講者および学長や経営学部の先生方でした。



1969 (昭和44) 年4月1日に奉職して以来、勤務年数が45年になります。45年前は、諸大学で大学紛争が激しく、本学でもしばらくの間、種々の影響を受けました。しかし、大学の創設期であったため、学内は活気にあふれていました。

1969年は助手であったため、最初のうちは英書講読のみを担当しましたが、6月頃、諸事情により急遽、商業簿記も担当することになりました。しばらくの間 (約5年間) は、2コマの講義を担当するだけで、自由に財務会計の研究をさせてもらいました。

研究面では、最初は原価とは何かに関心を持ち、当時わが国の財務会計論で注目されていたペイトンの原価主義の考え方を中心に研究するようになり、それ以後ペイトン学説を研究しました。

1960年代中頃にアメリカにおいて現代年金会計論が盛んに研究され、わが国においても少しずつではあるが、年金会計論が研究されるようになりました。そこで1981年頃から、30年以上にわたって私もアメリカの現代年金会計論を研究することになりました。

アメリカにおける年金会計原則がいつごろどのようにして生まれ、その後1990年頃までにどのように発展してきたかについて研究し1991 (平成3) 年に、『現代年金会計論』を出版しました。本書は、1985年に公表された年金会計原則の理論構造と役割を中心に検討し、アメリカにおける年金会計原則の発展史を論じたものであります。

2000年以降、退職給付会計基準は急速に大きく変化しました。特に、わが国では、アメリカの会計基準や国際会計基準の影響を受けてたびたび改訂され、現在では、2012 (平成24) 年5月に公表された「企業会計基準第26号」などに従って処理することになりました。

退職後、長年研究してきたアメリカの最近の退職給付会計基準を論文にし、できれば最近の日米の退職給付会計基準を比較研究して論文にまとめたいと思っています。

留学生学外研修旅行

吉備津彦神社・岡崎嘉平太記念館・備中松山城を訪ねて

10月12日 (土) は、日本へ来たばかりの私達にとって待望の研修旅行の日です。

学生73名と引率の先生達で二台の学園バスに分乗して、最初に訪問したのは大学から近い吉備津彦神社です。この神社は昔、吉備国を平定した大吉備津彦命を祀った神社で私達は初めて日本の神社の大きな鳥居の下を通りました。私は、病弱な祖父の健康を願って絵馬という木の板に中国語で「保佑姥爷身体健康」と書いて神様をお願いしました。その瞬間、その願いはきっと叶えられるという不思議な気持ちになり心も穏やかに落ち着きました。ほかにも縁結び、安産、学業などをお願いできるそうです。

次の訪問先は、吉備高原都市の岡崎嘉平太記念館です。記念館の館長さんから嘉平太さんの生涯を学び、第二次世界大戦終結後の困難を乗り越えて中日友好と両国の民の幸せのために努力されたことに深い感銘を受けました。私達がこうやって留学できるのも嘉平太さんのお蔭だと実感しました。私はテレビのインタビューを受けました。これも貴重な経験でした。平和が一番、これからも両国は仲良くしなければならぬこと、私達留学生も中日友好の架け橋の役目を担っていることをインタビューで確信しました。

最後は難関の備中松山城です。日本一高いところにある山城です。途中、山に登るのは大変でした。自分達の力不足を思い知らされましたが、頂上に着いた途端、それも吹き飛びました。空が青く晴れわたり、緑もいっぱい、頂上からの眺めの素晴らしさ、こんな環境のいいところは久しぶりで気持ちがよかったです。科学や技術が発達していない時代に、こんな高い山頂までどうやって大きな石を運んだり、天守閣や城壁を築くことができたのだろう。きっと当時の人民の知恵があったからだろう。だから、こうやって私達は今でも備中松山城を訪れることが出来る訳です。山を下りて武家屋敷にも立ち寄りました。



今回、一日かけて三か所を地元のボランティアの方々温かく案内や説明をしてくれて、本当に充実した研修旅行体験でした。日本の文化を知り、地域の人々の温かさに触れ、平和の大切さを理解しました。
(入学前教育履修生 郭 夢実 王 鈺嵐)

エッセー 数珠つなぎ

「牧場巡り!?!」

経営学部経営学科 准教授 渡邊 憲二

昨年4月に赴任し、1年が経とうとしています。「晴れの国」岡山に来てから、週末になると、我が家では決まってあることが起こるようになりました。それは…。

2歳になったばかりの娘が、動物の絵本を持ち、描かれた動物を指差しながら、「見たい。見たい。」と駆け寄って来ることです。

岡山には、水族館、動物園、農業公園、牧場など多くの場所で動物と触れ合うことができる機会があります。本学のある岡山市北区でも、車で30分も移動すれば、自然の豊かさを感じることができます。

身近に動物と触れ合える場所が多いことから、最近は家族で牧場巡りをするのが、我が家のブームになっています。岡山市北区にあるM牧場では、娘が猫やアヒルを見て喜び、暑いアイスを買ってしまいい、Y牧場では馬を見て驚き、泣きながらアイスを持参していました。K牧場では、馬に初めてエサを与えて、拍手しながら大喜びしていました。また、東区にあるM牧場では花を見ながらアイスを食べ、プランコに乗って遊び、R牧場では子ヤギを追いかけて、ヤギの鳴き声に怖がりながらも、楽しく遊んでいました。

このように動物と触れ合う場所が多いことは、他県出身者である私から見ると、恵まれた地域であると思います。また、自然環境も良く、レジャー施設も多い岡山は魅力的な地域であることを実感しています。(食べ物も美味しいですね。)

岡山には、まだまだ魅力的な場所が多いと思いますので、2年目を迎えるにあたり、岡山県内全域を視野に入れながら、新たな発見や出会いを期待しつつ、ゆっくりと岡山の生活を楽しみたいと思っています。(もう少し散策の範囲を広げ、牧場巡りをするつもりです。牧場についてのアツい話は、また別の機会にでも…。)

私語や居眠りが少ない講義というのは、結局、面白い講義をすれば、自然とそうなるはずだと考え、ある意味、これは自分との戦いとして、チャレンジしてきましたが、手応えがはっきりとつかめるようになってきました。

面白い講義といっても、生徒に迎合して面白おかしい話をするという意味ではなく、彼らの興味を掻き立てるテクニクと情熱を持って当てるということですが。

この後期も、幾人かの生徒から、講義内容が面白いという意見が寄せられ、正直、うれしく思いました。

来年は九年目。

どんな生徒さんとの出会いがあるか。今から楽しみに春を待ちます。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家

石井敏弘

二〇〇六年から非常勤講師を拝命してから八年目を終えようとしています。

自分というのなんですが、ここ数年、講義内容が充実して来た実感があり、百名を超える生徒さんたちの、ざっと七割くらいの関心は、講義中にある程度惹きつけられるようになりました。

そのうちのさらに半分は、非常に熱心に聴いてくれている。

百名を超える講義が静聴しているという状況を作り出すのは、実際、なかなか大変なものです。漫然と講義をしたのでは、生徒さんの関心も薄い。結果的に私語も増え、そうなる講義全体の学習意欲にも影響してくる…。

私語や居眠りが少ない講義というのは、結局、面白い講義をすれば、自然とそうなるはずだと考え、ある意味、これは自分との戦いとして、チャレンジしてきましたが、手応えがはっきりとつかめるようになってきました。

面白い講義といっても、生徒に迎合して面白おかしい話をするという意味ではなく、彼らの興味を掻き立てるテクニクと情熱を持って当てるということですが。

この後期も、幾人かの生徒から、講義内容が面白いという意見が寄せられ、正直、うれしく思いました。

来年は九年目。

どんな生徒さんとの出会いがあるか。今から楽しみに春を待ちます。

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り

学院長挨拶



2014年1月より、再び岡山商科大学孔子学院長を仰せ付け、皆様のお世話をさせていただくことになりました。多くの方々のご支援をいただき、早稲田大学孔子学院に次ぎ、日本で8番目に開設しました孔子学院も今年で7年目を迎えることになりました。その間、開設当初の事業構想として掲げていました中国語教育、学術文化活動などを着実に実施してまいりました。

中国語教育におきましては、入門、初級、中級、上級などの各コースの受講生の総数は約2,000人に達しています。また春節交流会をはじめとする文化交流事業への参加者も累計約6,000人に及び、地域社会へ大きく貢献してきたことを自負しています。さらに、県下教育関係者訪中団をはじめ、中国訪問者数は延べ約100人となりました。このような様々な活動を通して、多くの地域住民に今まで以上に中国への理解を深めていただけたと考えております。加えて、毎週のラジオ講座におきましても、簡単な中国語会話や中国の社会文化の紹介などを通して、岡山県はもちろん、隣接各県の方々にも中国のことを知っていただけたと同時に、孔子学院の認知度も高めることができたことと思えます。

このように、順調に推移してきましたのは、地域住民のご理解とご協力があったることと考えております。また、中国孔子学院本部、大連外国語大学のご支援、ならびに、井尻理事長をはじめ岡山商科大学教職員のご協力によるところも大きいと思えます。

今後とも、皆様方のご協力を賜りますことを心より御願ひ申し上げます。

文化講座



文化イベント



中国関連項目



「日本事情」課外授業「後楽園」と「岡山城」の見学研修

11月9日(土)早朝、私たち37人の「日本事情」課外授業受講生は、先生たちと一緒に後楽園をめざして学園バスに乗り込みました。前の週の講義で後楽園が日本三大名園の一つだと教えられ、本当に胸をワクワクさせました。

早速、四つの班に分かれて、いよいよ後楽園見学です。ガイドのボランティアの方は親切な人で、私たちが留学生と知ると中国語で案内してくれました。だんだん後楽園の素晴らしさが分かってきました。郭沫若の詩碑と鶴のエピソードには感動しました。可愛い八匹の丹頂鶴を見ていると、思わず中日両国の永遠の友好交流を心から祈りました。園内の鳩も池の鯉も人間を全然怖がりません。明るく広い芝生の空間の別世界には心を奪われました。花交の池では滝



も有ります。園内をゆったりと巡り流れてきた曲水の水は、この池から園外の旭川に戻って行くそうです。園路を回っていると、花嫁姿の新婦新郎に出会いました。二人は寄り添ってとても幸せそうで、ラッキーと思いながら二人の写真を撮りました。

良い思い出になりそうなきび団子と抹茶を楽しんだ後、南門から次の岡山城へ向かいました。月見橋を渡って天空に聳える天守閣を仰ぎ見ながら城の中へ入って行きました。巨大で雄大な黒い壁の岡山城の威容ぶりは、まさに戦国そのままの姿です。「烏城」と別名で呼ばれるように金色と黒壁のバランスが美しく、韓国や中国にない日本独特の城だと実感しました。天守閣の中では戦国の昔にタイムスリップしたような気持ちになり、時間があればお殿様お姫様の着付けをしてみたかったです。特別展では江戸時代のロケットや、菊花展では大輪の菊の花を初めて見ました。

半日の短い見学でしたが、日本の美しさと岡山の人たちの親切は決して忘れることはありません。皆さんに感謝します。氷山の一角かもしれませんが、もう一步日本に近づいた感じの見学研修でした。(日本事情受講生 鄭ハヌル 王 艶 鄭 威 李 濟 鉉)

【もしドラ合同ゼミ】～商大野球部応援と名画鑑賞へ行く～

10月9日(土)私達入学前留学生の経営学科合同ゼミ(于、渡邊、甲元先生)の13名は倉敷美観地区、大原美術館、マスカット球場へ行きました。同行の甲元先生の「自分の目で見て、自分の耳で聞き、自分の手で触る」持論通り、私達は自分でキップを買って、行き先を確かめながらJR電車で乗り込みました。ゼミのネーミングは、教材の「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」に由来します。

最初の倉敷美観地区では、優しい男性ボランティアさんの案内で倉敷の歴史と素晴らしい町並みを存分に楽しみました。特に先人の知恵の結晶である古い町並みが立派に保存されており感動しました。記念写真もいっぱい撮りました。謂わば倉敷美観地区の美しさは中国の烏鎮(浙江省桐郷市にある古い町並み観光地)だと思えました。

大原美術館では美術館の美術レクチャーの後、世界で有名な作品をいっぱい見て、美術の魅力を実感しました。私は児島虎次郎の絵が大好きで本当に和風の素敵な作品だと思いました。記念に絵葉書も買いました。

最後はJRで中庄駅まで戻って、いよいよお目当ての倉敷マスカット球場です。わが校の硬式野球部の秋季リーグの最終戦の応援です。中国では目にすることのない野球ゲームを初めて見ました。まだまだ細かいルールはよく分かりませんが、東亜大との試合でわが校は初めは劣勢でしたが、みんな頑張って延長戦となり私達もだんだん緊張して応援しました。最後には勝利に転じとても嬉しかったです。自分の目で野球を見て、この鋭い球音と選手の大きなかけ声も聞き、野球の魅力が少し理解できました。本当に楽しい一日でした。明日から、またドラッカーのマネジメントを一生懸命勉強します。



(入学前教育履修生 趙 剛 周易霖 曹怡傑)

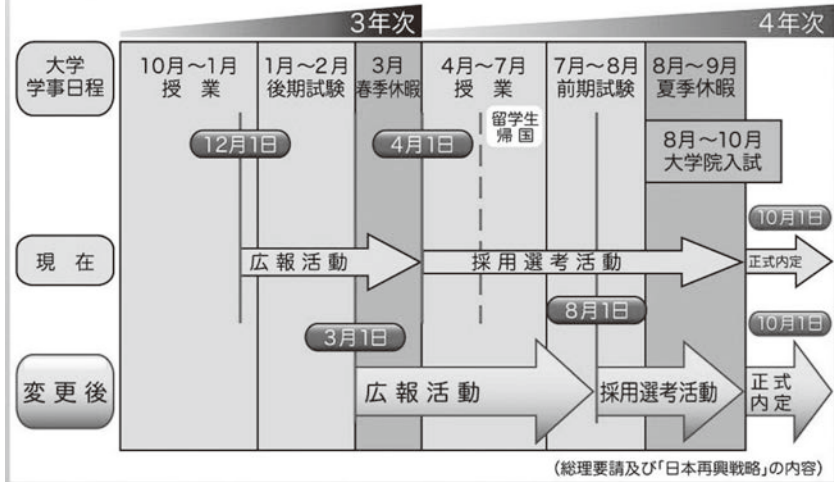
キャリアセンター便り

**3年次修了までに
多くの単位を取得!!**

「2016年3月卒業予定者の 就職活動時期が後ろ倒し」

2016年3月卒業予定者の就職解禁時期が12月から3月へ、企業の採用試験開始時期が4月から8月へ後ろ倒しされます。これに伴い、就職活動期間が短縮され通常の授業が開講されている4年生の4月から7月に企業説明会（広報活動）が集中するものと思われます。内定を得るためにはこの説明会に出席することが必修要件。3年次修了までに出来るだけ多くの単位を取得し、スムーズに就職活動をスタートできる環境を今のうちに整えてください。

就職・採用活動開始時期変更



文部科学省「学生の就職・採用活動時期の変更に関する担当者説明会（H25/12/9）」資料図

人事異動

種別	役職等	氏名	所属	日付
採用	招へい講師	賀 耀明	経営学部商学科	9月1日
異動	主任	村岡 崇	岡山商科大学附属高等学校	10月1日
	主任	木村秀規	キャリアセンター（附属高校から）	

（総務企画課）

吹奏楽部・部員募集！

岡山商科大学はまもなく50周年を迎えます。記念すべき周年を迎えるに当たり、今後、文化的な活動も積極的に推進し、学生の皆様に、心豊かな学園生活を送れるような環境を整えていくため、吹奏楽部を結成することになりました。

その為に、2014年度から、高等学校で吹奏楽部を長年指導されてきた指導者を本学にお迎えする予定にもしております。

ご興味のある方は、学生課窓口をお尋ねください。（学生課）

2013年度のクラブ活動の主な戦績

サークル名	学生氏名	出身校	大会名	種目	順位
弓道部	人見 早紀	興陽高校(岡山)	岡山県内新人戦	個人	優勝
弓道部	人見 早紀	興陽高校(岡山)	納射会	個人	優勝
弓道部	男子団体		県内リーグ	男子団体	2部リーグ優勝(1部昇格)
弓道部	女子団体		第26回全国大学弓道選抜大会	女子団体	出場決定
硬式野球部			山陽新聞社杯 第2回岡山県大学野球大会		優勝
硬式野球部			中国六大学野球春季リーグ戦(7勝5敗、勝点2) ベストナイン賞(三塁手):大崎 雅人(経営学部4年・明徳義塾高校出身) ベストナイン賞(遊撃手):三木 大知(経営学部4年・倉敷工業高校出身)		第4位
硬式野球部			中国六大学野球秋季リーグ戦(7勝5敗、勝点3) 敢闘賞及びベストナイン賞(遊撃手):三木 大知(経営学部4年・倉敷工業高校出身)		第2位
ゴルフ部	荒木 翔也	倉敷工業高校(岡山)	第2回中国四国学生ゴルフREGUS CUP	個人	1位
ゴルフ部	井上龍太郎	岡山県作陽高校(岡山)	第37回中国四国学生ゴルフ選手権大会	個人	1位
ゴルフ部	団体		平成25年度中国四国学生ゴルフ連盟秋季1部校対抗戦	団体	2位
ゴルフ部	団体		第50回全国大学ゴルフ対抗戦	団体	15位
柔道部	荒巻 雄樹	市川高校(兵庫)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子100kg 超級	出場
柔道部	有吉 育揮	岡山理科大学附属高校(岡山)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子81kg 級	出場
柔道部	石川 承俊	神戸国際大学附属高校(兵庫)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子100kg 超級	出場
柔道部	石飛 祐	平田高校(鳥取)	第68回国民体育大会島根県予選会	男子60kg 級	優勝
柔道部	石飛 祐	平田高校(鳥取)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子60kg 級	出場
柔道部	井筒新一郎	神戸国際大学附属高校(兵庫)	平成25年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会県予選会	男子73kg 以下級	優勝
柔道部	大野 提亮	関西高校(岡山)	平成25年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会県予選会	男子60kg 以下級	優勝
柔道部	梶田 俊樹	宇和島東高校(愛媛)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子90kg 級	出場

柔道部	河合賢太郎	大阪体育大学浪商高校(大阪)	平成25年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会県予選会	男子100kg 超級	優勝
柔道部	河合賢太郎	大阪体育大学浪商高校(大阪)	第68回国民体育大会岡山県予選会	男子90kg 超級	1位
柔道部	河合賢太郎	大阪体育大学浪商高校(大阪)	第68回国民体育大会		出場
柔道部	河合賢太郎	大阪体育大学浪商高校(大阪)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子100kg 超級	出場
柔道部	郡司 知幸	高松中央高校(香川)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子100kg 級	出場
柔道部	河野 海	神戸国際大学附属高校(兵庫)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子66kg 級	出場
柔道部	松岡 翔誠	神戸国際大学附属高校(兵庫)	平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回 女子29回)	男子90kg 級	出場
柔道部	島谷未沙希	広島皆実高校(広島)	平成25年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会県予選会	女子78kg 超級	優勝
柔道部	島谷未沙希	広島皆実高校(広島)	平成25年度 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	女子78kg 級	出場
柔道部	男子団体		平成25年度中国四国学生柔道優勝大会(男子59回、女子20回)	男子団体	優勝
柔道部	男子団体		平成25年度 中国四国学生柔道体重別団体優勝大会(第15回)	男子団体	準優勝
柔道部	男子団体		平成25年度 全日本学生柔道優勝大会(男子62回 女子22回)		出場
柔道部	女子団体		平成25年度 全日本学生柔道優勝大会(男子62回 女子22回)		出場
卓球部	伊藤 夕貴	山陽女子高校(岡山)	第45回中国新人学生卓球選手権大会	個人	優勝
卓球部	伊藤 夕貴	山陽女子高校(岡山)	第45回中国新人学生卓球選手権大会	ダブルス	優勝
卓球部	伊藤 夕貴	山陽女子高校(岡山)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	個人	出場
卓球部	伊藤 夕貴	山陽女子高校(岡山)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	ダブルス	出場
卓球部	岩切 楓	宮崎商業高校(宮崎)	第64回中国学生卓球選手権春季大会	女子団体	新人賞
卓球部	岩切 楓	宮崎商業高校(宮崎)	第64回中国学生卓球選手権春季大会	女子ダブルス	優勝
卓球部	岩切 楓	宮崎商業高校(宮崎)	第45回中国新人学生卓球選手権大会	ダブルス	優勝
卓球部	岩切 楓	宮崎商業高校(宮崎)	第80回中国新人学生卓球選手権大会	個人	出場
卓球部	王 甲	出雲北陵高校(岡山)	第64回中国学生卓球選手権春季大会	男子団体	敢闘賞
卓球部	王 甲	出雲北陵高校(岡山)	第64回中国学生卓球選手権春季大会	男子シングルス	優勝
卓球部	王 甲	出雲北陵高校(岡山)	第10回全日本学生選抜卓球選手権大会	個人	出場
卓球部	王 甲	出雲北陵高校(岡山)	第45回全日本大学総合卓球選手権大会	個人	優勝
卓球部	大西 研矢	尽誠学園高校(香川)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	個人	出場
卓球部	酒井 康行	関西高校(岡山)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	ダブルス	出場
卓球部	白石 広大	今治南高校(愛媛)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	ダブルス	出場
卓球部	谷口 秀佳	関西高校(岡山)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	個人	出場
卓球部	谷口 秀佳	関西高校(岡山)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	ダブルス	出場

Information 情報 アラカルト

卓球部	谷口穂乃花	岩国商業高校(山口)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	ダブルス	出場
卓球部	陳 俊雅	日本航空高校石川(石川)	第64回中国学生卓球選手権春季大会	女子団体	最優秀選手賞
卓球部	陳 俊雅	日本航空高校石川(石川)	第64回中国学生卓球選手権春季大会	女子ダブルス	優勝
卓球部	陳 俊雅	日本航空高校石川(石川)	第64回中国学生卓球選手権春季大会	女子シングルス	優勝
卓球部	陳 俊雅	日本航空高校石川(石川)	第64回中国学生卓球選手権秋季大会	女子団体	最優秀選手賞
卓球部	陳 俊雅	日本航空高校石川(石川)	第64回中国学生卓球選手権秋季大会	女子シングルス	1位
卓球部	陳 俊雅	日本航空高校石川(石川)	第10回全日本学生選抜卓球選手権大会	個人	出場
卓球部	土江慎太郎	武田高校(広島)	第64回中国学生卓球選手権春季大会	男子団体	新人賞
卓球部	徳田 光紀	高松中央高校(香川)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	ダブルス	出場
卓球部	平野 太智	鎮西学院高校(長崎)	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	個人	出場
卓球部	平野 太智	鎮西学院高校(長崎)	第64回中国学生卓球選手権秋季大会	男子団体	敢闘賞
卓球部	男子団体		第45回中国新人学生卓球選手権大会	男子団体	準優勝
卓球部	男子団体		第64回中国学生卓球選手権春季大会	男子団体	2位
卓球部	男子団体		第83回全日本大学総合卓球選手権大会	男子団体	出場
卓球部	男子団体		第64回中国学生卓球選手権秋季大会	男子団体	2位
卓球部	女子団体		第45回中国新人学生卓球選手権大会	女子団体	優勝
卓球部	女子団体		第64回中国学生卓球選手権春季大会	女子団体	優勝
卓球部	女子団体		第64回中国学生卓球選手権秋季大会	女子団体	優勝
軟式野球部			第36回全日本学生軟式野球選手権大会		出場
日本拳法部	山口 明晃	浜田商業高校(鳥根)	日本拳法徳島県総合選手権大会	個人	優勝
日本拳法部	山口 明晃	浜田商業高校(鳥根)	日本拳法岡山県総合選手権大会	個人	優勝
日本拳法部	山口 明晃	浜田商業高校(鳥根)	日本拳法愛媛県総合選手権大会	個人	優勝
日本拳法部			第58回全日本学生拳法選手権大会	団体	出場
ボウリング部	志摩竜太郎	秀岳館高校(熊本)	第47回全日本選抜選手権大会	個人	出場
ボウリング部	高杉 秀輔	岡山商科大学附属高校(岡山)	第68回国民体育大会	個人	出場
ボウリング部	高瀬 怜志	岡山商科大学附属高校(岡山)	文部科学大臣杯争奪 全日本大学ボウリング選手権大会	団体	ハイアベレージ
ボウリング部	団体		文部科学大臣杯争奪 全日本大学ボウリング選手権大会	団体	準優勝

陸上競技部	石橋 健	大社高校(鳥根)	平成25年度 第1回津山陸上競技記録会兼第1回岡山学連記録会	走高跳	1位
陸上競技部	石橋 健	大社高校(鳥根)	岡山県陸上競技記録会	走高跳	1位
陸上競技部	石橋 健	大社高校(鳥根)	第96回全山陸上競技大会	走高跳	1位
陸上競技部	石橋 健	大社高校(鳥根)	第67回鳥根陸上競技選手権大会兼第68回国民体育大会県予選会	走高跳	1位
陸上競技部	石橋 健	大社高校(鳥根)	第67回中国四国学生陸上競技対校選手権大会	走高跳	1位
陸上競技部	石橋 健	大社高校(鳥根)	2013 日本学生陸上競技個人選手権大会	走高跳	出場
陸上競技部	今井 翔吾	東岡山工業高校(岡山)	第23回岡山県学生陸上競技選手権大会	400 m	1位
陸上競技部	碓井 隆治	東温高校(愛媛)	第34回中国四国私立大学陸上競技対校選手権大会	1500m	1位
陸上競技部	大久保圭悟	野村高校(愛媛)	第34回中国四国私立大学陸上競技対校選手権大会	800m	1位
陸上競技部	大久保圭悟	野村高校(愛媛)	第2回岡山県陸上競技記録会	800m	1位
陸上競技部	大久保圭悟	野村高校(愛媛)	第24回岡山県実業団・学生対抗陸上競技選手権大会	800m	1位
陸上競技部	太田 拓也	岡山工業高校(岡山)	第23回岡山県学生陸上競技選手権大会	110 mH	1位
陸上競技部	遠嶋 克也	別府商業高校(大分)	第67回大分県陸上競技選手権大会	棒高跳	1位
陸上競技部	戸田 敬宏	今治明徳高校(愛媛)	第34回中国四国私立大学陸上競技対校選手権大会	円盤投	1位
陸上競技部	濱崎 貴行	鳥取工業高校(鳥取)	第67回鳥取県陸上競技選手権大会兼第68回国民体育大会選手権大会	円盤投	1位
陸上競技部	濱崎 貴行	鳥取工業高校(鳥取)	鳥取市陸上競技選手権	円盤投	1位
陸上競技部	山口 侑太	美鈴が丘高校(広島)	第61回岡山市中学・高校・一般各部対抗陸上競技大会	100m	1位
陸上競技部			第34回中国四国私立大学陸上競技対校選手権大会	4×100mR	1位
陸上競技部			第30回岡山県実業団・学生対抗陸上競技選手権大会	4×100mR	1位
陸上競技部			第34回中国四国私立大学陸上競技対校選手権大会	男子総合	2位

(学生課)

アウトドア部の活動について ~アウトドア部・于ゼミ共同主催バーベキュー~

気温も上がり、季節は初夏になりアウトドアシーズンに突入しました。そこで5月25日にアウトドア部と顧問である于琳先生の2~4年のゼミ生と合同でバーベキューを行いました。アウトドア部以外の団体と合同で活動をするというのは初めての試みで、色々と頭を抱える事がありました。参加人数は総勢で約50名にもなり、場所や食材、道具はどうしようか、そもそもこの大人数をまとめる事が出来るのだろうか心配でした。何度も于先生と話し合い、試行錯誤しながら何とか当日を迎える事が出来ました。場所は岡山市の後楽園の近くの旭川河川敷で行いました。天気も良く、太陽の光に当たると暑いぐらいでした。食材や道具の準備などはみんなで協力する事が出来たので、特に問題も起こらず始める事が出来ました。最初は心配ばかりでしたが、そんな心配を忘れるほど楽しい交流会になりました。みんなでわいわいバーベキューをして、スイカを食べたりもしました。最後は集合写真を撮り無事に終わり、交流会は大成功となりました。

ゼミやサークル、学年の枠組みを超えて親睦を深めました。普段、大学に通うだけでは出会う事はないだろう人とも出会え、みんなで楽しい時を過ごしました。この交流会を経験して、サークルや部活に参加する重要性に改めて気づく事が出来ました。ゼミや講義の中だけで人脈を広げるのは限度がありますが、サークルに参加し今回の様な交流会をすることで多くの人に出会う事が出来ます。今回は学内だけでしたが、他の大学の学生とも交流する機会も増えてきます。私は大学生活、就職活動を経験して、大学で一番重要な事は他人との交流だと感じました。学生にとって勉強やアルバイトも大切とは思いますが、今しかできない事があると思います。それが他人との交流であり、人脈を広げる事に繋がります。そして、他者の価値観や、主義主張に触れることで自分自身の視野を広げる事が出来ます。さらに、コミュニケーション能力や自主性等も身に付ける事が出来ます。これらは、授業で先生の話聞いてても、アルバイトでマニュアル通り働いても身に付ける事は出来ません。サークルや部活の様に部員が自由に行動や発言が出来、尚且つ組織として成り立っているから身に付けやすいのです。なので、サークルや部活に参加していない方は勇気を出して、何でもいいので参加してみてください。もし、目ぼしいサークルが見つからない時は、アウトドア部に興味があれば是非、参加してみてください。



(アウトドア部 佐々木真志)

大学祭

2013年10月26日(土)~27日(日)に行われた商大祭では、大勢の方々にお越しいただき盛大に執り行ったことを前委員長に代わりお礼申し上げます。

本年度大学祭は、「Smile~48回目のキセキ~」というテーマのもと、私たち大学祭実行本部を中心に様々な活動を行ってきました。主な活動として、芸能人によるコンサートや野外ステージでの企画、その他にも地域の子どもたちが気軽に参加できるようにスタンブラリーを実施しました。

来年度の大学祭も昨年に劣らない素晴らしいものにできるよう頑張っていきます。

(第49期大学祭実行本部委員長 田中翔也)

留学生歓迎会についての感想

2013年10月11日(金)、学友会執行本部の主催で、私達留学生のために留学生歓迎会を開催して頂きました。普段は授業等で忙しく、他の留学生や日本人学生と交流することがあまりなかったため、留学生歓迎会は非常に有意義な時間となりました。留学生の先輩たちの歌や演奏やダンスはすごく上手で本当に驚きました。また、日本の食べ物もたくさん用意していただき、すごくおいしかったです。参加者の中には、日本や中国、韓国、東南アジアの国の学生達がいまいました。様々な国の人と交流することができ、勉強になったと同時に、それぞれの国から岡山商科大学に来て友達になれたということに大きな縁を感じました。私は、子供のころからあこがれていた日本に2013年9月に来ました。期待を胸にふくらませ留学生生活を始めましたが、この留学生歓迎会のおかげで、期待を上回るとも有意義な留学生活となりました。本当に感謝しています、ありがとうございました。

(岡山商科大学交換留学生 馬林峰)

平成25年度文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の3タイプに選定されました。

文部科学省では、社会の発展・変革を担う人材育成、知的基盤の形成やイノベーションの創出が大学に強く求められる社会情勢の中で、3つの方向性(タイプ1:大学教育の質的転換、タイプ2:地域の発展を重層的に支える大学づくり、タイプ3:産業界や国内外の大学等と連携した教育研究)に沿って組織的・体系的な大学改革に取り組む私立大学を選定し支援する事業として公募を行い、9月に全国772校からの申請がありました。

選定に当たっては、各タイプ毎の大学改革に資すると考えられる取り組みと当該取り組みを実施している場合の得点を選定基準として定めた調査票に基づき、合計得点の高いものから選定する方式が採用され、審査の結果、367校が選定されました。

本学では、平素から大学の教育理念に基づいた質的転換への取り組み、地域の発展を目指した事業、産業界や国内外の大学との積極的な連携活動を実施していたことから、タイプ1、タイプ2、タイプ3の3つのタイプ全てで、選定を受けることが出来ました。3タイプ全てで選定されたのは367校のうちでも22校だけです。

申請に当たり、本学の教育研究活動にご理解を示していただいている高等学校、産業界や地方自治体のご関係皆様の惜しみないご支援に深く感謝します。

本学での実施事業内容

タイプ1. 学生の行動管理・出席管理のためのモバイル学生行動システム・モバイルWeb履修申請システムの整備

タイプ2. 地域の課題解決型学習やアクティブラーニングのための設備の整備

タイプ3. 海外大学との大学間交流促進のための「進学学習室」設置のための設備の整備

(総務企画課)

卒業記念パーティーのご案内

卒業される皆様方を祝しましてパーティーを開催致します。パーティーでは食事やビンゴ大会など色々企画しており卒業される皆様方に楽しんで頂ける、有意義な時間になると思います。

参加費は無料となっております。皆様お誘いの合わせのうえぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

[日 時] 2014年3月22日(土) **[場 所]** 学生会館2階第2談話室
12:30～ 受付開始 **[参加費]** 無料
13:00～ 開宴
15:00～ 閉演

学位記授与式・入学式のご案内

学位記授与式

2014年3月22日(土) 10時30分～

入 学 式

2014年4月 3日(木) 10時30分～

※いずれも体育館

慶應MCC タ学サテライト 2014年度前期 開催予定

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会 場 岡山商科大学 7号館781教室
- 受 講 料 パスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

4月11日(金) <大人の教養>

穂村 弘 (ほむら ひろし)
歌人
「言葉の正体」

4月14日(月) <時代の風を受けて>

宮本 恒靖 (みやもと つねやす)
元サッカー日本代表主将
「FIFAマスターで考えた日本サッカーの未来地図」

4月18日(金) <先が見えない時代の経営論>

井上 哲浩 (いのうえ あきひろ)
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授
「ビッグデータ時代のマーケティング戦略」

5月14日(水) <気鋭の論客に聞く>

橋本 大二郎 (はしもと だいじろう)
前高知県知事、慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 特別招聘教授
手嶋 龍一 (てしま りゅういち)
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授、外交ジャーナリスト・作家
「国と地方を分ける意味～分権はなぜ必要か～」
◎対談形式の講演です。

5月16日(金) <先が見えない時代の経営論>

坂本 幸雄 (さかもと ゆきお)
WIN CONSULTANT株式会社 社長、元エルピーダメモリ(株)社長
「エルピーダの戦いを振り返って」

5月20日(火) <気鋭の論客に聞く>

柳川 範之 (やながわ のりゆき)
東京大学大学院経済学研究科・経済学部 教授
「40歳からの会社に頼らない働き方」

5月22日(木) <先が見えない時代の経営論>

小川 進 (おかわ すずむ)
神戸大学大学院経営学研究科 教授
「ユーザーイノベーション：消費者からはじまるモノ作りの未来」

5月28日(水) <気鋭の論客に聞く>

瀬谷 浩介 (もたに こうすけ)
株式会社日本総合研究所 調査部主席研究員
「お金に換算できない価値が眠るところ」

6月5日(木) <時代の風を受けて>

新見 正則 (にいみ まさのり)
帝京大学医学部外科 准教授
「マウスが教えてくれた幸せな生き方論」

6月6日(金) <大人の教養>

窪寺 恒己 (くぼでら つねみ)
国立科学博物館標本資料センター コレクションディレクター
「深海の怪魔 ダイオウイカを追いかけて」

6月11日(水) <先が見えない時代の経営論>

菊澤 研宗 (きくざわ けんしゅう)
慶應義塾大学商学部 教授
「いまこそ経営に哲学を！」

6月20日(金) <大人の教養>

佐藤 卓己 (さとう たくみ)
京都大学大学院教育学研究科 准教授
「民意のリテラシーにむけてー「世論の輿論化」を考える」

7月4日(金) <創造を育む方法論>

服部 泰宏 (はっとり やすひろ)
横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 准教授
「組織と個人の見えざる約束」

7月11日(金) <先が見えない時代の経営論>

松井 忠三 (まつい ただみつ)
株式会社良品計画 代表取締役会長
「シンプルな仕組みが会社を変え、人を育てる」

7月25日(金) <気鋭の論客に聞く>

藤本 隆宏 (ふじもと たかひろ)
東京大学大学院経済学研究科 教授、
東京大学ものづくり経営研究センター長
「日本のものづくりは「夜明け前」か」

■お問合せ先

●岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601
岡山市北区津島京町2-10-1
TEL086-256-6656

(社会総合研究所)